

交通安全まんが

みどりちゃん
沢村ツム

雨の日はより慎重な運転で事故回避



「わがまち」紹介!

～金魚と文鳥に出会えるまち 弥富市～

★蟹江安全運転管理協議会



弥富生まれの品種 サクラニシキ



金魚のせりは、底に網を張った箱「かんこ」を流します

蟹江安全運転管理協議会は、尾張南西部に位置する弥富市、蟹江町、飛島村の会員企業で構成されています。今回は、愛知県の最西端「弥富市」についてご紹介します。

弥富市は、平成十八年に弥富町と十四山村の合併により誕生し、今年、市制施行二十周年を迎えました。

濃尾平野の南西部に位置する、市街と自然が調和した地域で、三重県や岐阜県の山々も近く、平地と山や川が織りなす四季折々の景観に出会うことができます。

日本有数の大河である木曽川の河口に広がる肥沃な浅瀬を開拓してつくられた弥富市は、海拔ゼロメートル地帯のきわめて平



坦な地形となっています。この干拓の歴史は主に江戸時代に始まっています。

交通については明治初期には弥富の前ヶ須宿から十四山を経て名古屋の熱田に至る新東海道が開通され、その後名古屋と関西方面を結ぶ関西鉄道(現JR関西本線)、昭和初期には関西急行電鉄(現近鉄名古屋線)や国道一号が開通しました。昭和三十年代以降は、名四国道(現国道二十二号)が通るとともに、近年では東名阪自動車道、伊勢湾岸自動車道と、東西を結ぶ動脈が築かれてきました。

過去には伊勢湾台風などの災害に遭いながらも乗り越え、現在では県内でも有数の近郊農業の拠点となっています。

また、日本有数の金魚の産地として、その生産種類の豊富さに加え、流通量全国一を誇っています。また、白文鳥の発祥地としても知られており、「文鳥の聖地」と呼ばれています。

■弥富金魚

弥富と金魚の関係は江戸時代の終わりにさかのぼります。当時すでに金魚生産が盛んだった大和郡山現在の奈良県から来た金魚商人が、東へ向う途中に前ヶ須の「ぶたつやの渡し」で金魚を池に放して休ませました。前ヶ須の人がそれを買取り飼育したのが、弥富金魚の始まりとされています。

■弥富文鳥

弥富の文鳥の飼育は、尾張藩の武家屋敷に勤めていた八重という女性が、元治元年(一八六四年)頃に弥富の又八新田の大島家に嫁入りする時に、勤め先で世話をしていた文鳥を持参したことが始まりと伝わります。明治時代には弥富で白文鳥が生まれ、その愛らしさから日本中に広まりました。

▼おすすめスポット

弥富金魚と弥富文鳥に出会える「弥富市歴史民俗資料館」は、弥富市役所の隣の「みなともまちなか交流館」一階にあります。特におすすめるのが、エントランスにある弥富金魚のミニ水族館「YaToMi AQUA」です。

大型水槽では、金魚のまち・弥富の選りすぐりの高級品種を展示しています。弥富で生まれた品種も各種展示していて、鮮やかな色彩や優美に泳ぐ姿はまるで生きた宝石のようだと評判です。また、金魚すくいを常設していて、すぐれた金魚を数匹持ち帰ることもできます。館内のふれあいコーナーでは、金魚のえさやり体験や、「おもてなし学芸員」として資料館に勤務している白文鳥の「ぶんちゃん」と桜文鳥「さくら」に会うことができます。愛らしい金魚と文鳥がお待ちしています。企画展やイベントも随時開催しますのでぜひご来館ください。



弥富金魚のミニ水族館
YaToMi AQUA(ヤトミアクア)



白文鳥のぶんちゃん

- | | | |
|----------------------|-------------------------------|----------------------------|
| ●わがまち紹介.....1 | ●交通安全講話.....7 | ●警察からのお知らせ.....12 |
| ●交通安全随想.....2 | ●エコ&セーフティ無事故・無違反運動参加チーム募集...8 | ●今月の安全運転管理.....13 |
| ●贖いの日々.....3 | ●エコ&セーフティ無事故・無違反運動に参加して...9 | ●KYT(危険予知トレーニング)、編集雑記...14 |
| ●管理者登場.....4 | ●広報資料.....11 | ●安全運転管理者法定講習会(予定)...15 |
| ●春の全国交通安全運動の実施結果...5 | | |



交通安全

随想



交通評論家
矢橋 昇

標語

よくは分らないが、日本人は、標語好きであるような気がする。小学校などでも、『明るく元気な○○っ子』などといった、地に根差した子ども達の健全な成長を促す標語を掲げているところが少なくないし、工場などでは、安全や業績の向上を目指すスローガンが、壁のそこそこに張り出されているのを目にすることが多い。

短歌や俳句などといった文学を生んだ日本語の特質とも関わりがあるような気もするが、短い言葉の中に、リズムカルに思いを込めて呼び掛ける標語という形の訴え掛けが、日本人の感性に快く響くのではないかと思う。

だから交通安全の訴え掛けにも、標語が多用され、次々新しいものが生まれている。一般の人が考えた公募作品も多いようだが、どれもが、交通安全問題、交通事故防止

対策の核心を突いていて、なかなかの傑作ぞろいである。改めて、人々の、この問題についての関心の高さを感じるのだが、その割には、なぜか、現実の交通社会は、標語通りにはいっていない。交通安全を巡る本音と建て前を見せつけられているようにも思えて、複雑な気持ちになるのである。

その原因の一つかもしれないと思うのが、これらの交通標語の多くが、交通事故防止の留意点や、交通ルールの遵守の大切さを訴えるものである点だ。

もちろん、事故防止は交通安全活動の目的そのものであり、遵法がその為に不可欠な要件であることは言うまでもない。しかし、事故防止の為の配慮や交通ルール遵守の大切さは、改めて言われるまでもなく、殆どの人は、すでに分かっていることでもある筈だ。

しかも、誰もが、それなりに気を付けて行動していると思うし、大多数の人は、これまでのやり方で無事に過ごしてきている。だから、標語を見ても、建前を述べているように感じられてしまうのではないかと思うのだ。

決して交通標語を否定しているのではない。標語が、人々の意識の向上や態度の改善を促す上で果たしている役割は大きいと思う。でも、標語を掲げるだけでは、十分な成果は期待できないような気がするのだ。

それに、標語に促されて行動を改めているだけでは、一人前の交通参加者としては主体性がなさ過ぎるようにも感じる。それでは「言われて従う交通安全」の域を抜け出せていないような気がするのである。

標語の下で一致団結というのは、日本人が得意とする行動の仕方なのかもしれない。確かに、そうした意識の高揚が求められる分野もあるだろう。

でも、交通安全の場合は、ちよつと違うような気がする。社会全体にとって交通事故の抑止は大切な課題だし、事故は自分だけが注意していても防げるものでもないという点では、皆の共通認識が欠かせぬ分野だが、道路利用者一人ひとりにとっての関心事は、何よりも自分自身が、それに加えて家族や、職場の場合は部下や同僚が、事故に遭わぬこと、事故を起こさぬことだと思うからだ。

それを可能にするかどうかは、あくまでも一人ひとりの心構えによるものであり、標語一つで意識や態度の向上を期待出来るものではないように思うのだ。

交通安全の改善、向上の為に今必要なのは、この分野の教育の強化だと私は考えている。標語をそのきっかけや後押しとして使うのは大賛成だ。しかし、例えば、シートベルトやヘルメットの着用を標語を使っと呼び掛けても、なぜ、それが必要なのかという科学的な根拠が納得出来てくなくて、正しい着用の実践に結び付けるのは難しいような気がするし、制限速度の遵守や一時停止の励行などを訴える標語も、それらの規則の目的や根拠が正しく理解出来ていてこそ、望ましい行動の実践を期待することが出来るのではないだろうか。

ところで、標語というと、私のような古

い人間は、どうしても、且つての戦意高揚を煽る『戦時標語』のことを思い出してしまふ。当時小学生だった私でさえ、「撃ちてしまえ」「進め一億火の玉だ」等々、未だに頭にこびりついている。大人達が、本心で、どのように受け止めていたのかは分からないが、少なくとも子どもの中には、それらの標語の下に全国民が団結しているように見えた。まさに、標語を裏付ける当時の教育との合わせ技だったのではないかとと思うのだ。

中でも、子ども心に染み付いているのが「欲しがりません、勝つまでは」という標語。この標語一つで、食事や衣類も、ましてや、おもちゃやおやつも、その上、文房具さえ満足に手に入らぬ毎日に耐えていた。

お陰で、我慢強さが身に着いたのだけは悪くなかったが、本人の意思とは関係なく、大きなうねりに引き込んでいつてしまう標語の力と、それを誤ったことに使った時の恐ろしさも、思い知らされたような気がする。

その点、交通標語は、どれも心温まる。ただ、その狙いが、良心に訴えたり規則の遵守を呼び掛けるたりする物なので、今の交通社会の実態に慣れきった人達の心を打つのは容易ではないような気がするのだ。

そういえば、山間の道での転落事故を防ぐ為に、「命落とすな、スピード落とせ」という標語を掲げたのだが効果が出ない。ところが、「命落とすな」を「車落とすな」、スピード落とせと書き換えたら、途端に効果が表れたと言う話を聞いた事がある。

建前ではなく、本音をくすぐる。運転事故防止の訴え方を考える上で、示唆に富んだ話のように思うのだが…。

贖いの日々

罪

20代 建設業

その日は友人からバーベキューの誘いを受け、次の日が仕事にも関わらず夜の11時頃からバーベキューに参加しました。バーベキューの買い出しの際に缶ビールを取ろうとした時、友人の一人から「飲酒運転をしたら誰に迷惑をかけるかわかっているのか」と止めてくれたにも関わらず、飲酒運転が常習化していた私はその忠告が耳障りで、「大丈夫大丈夫」と適当に受け流してしまいました。

バーベキュー後は友人をカラオケ店まで送り、翌朝遅刻しないように仕事現場の前にあるスーパーの駐車場で仮眠を取ろうと車を走らせました。飲酒運転をしていて危険極まりない状態にも関わらず、更にタバコを片手に携帯で友人と電話をしながら運転をしていました。そして、途中の路上で座っていた被害者様に気

付くことができず事件を起こしてしまったのです。

最初は何が起きたのか分からず、確認するため現場に戻りました。そこには被害者様が倒れていて、傍らにいた方が私に向かって怒鳴っていました。「今飲酒運転がバレると更におおごとになる……これは夢だ……」と目の前の地獄の様な状況が恐ろしくなり、その場から逃げてしまったのです。スーパーの駐車場まで逃げたものの気が気ではなく、「きつと夢。一応次の日の仕事が終わったら、出頭しよう……」と支離滅裂なことを考えながら寝ました。そして目が覚めると警察に囲まれていて、「自分が何をやったか、わかっているのか」と言われ、そこで初めて人を轢いたことを認め、逮捕されました。被害者様は小学1年生と3年生のまだ幼いお子さんがいらっしやるお母様でした。

留置所や拘置所に面会に来てくれた父の非常に疲れた顔、情状証人に立ってくれた雇用主と父の姿に心が痛み、顔を合わせることも出来ませんでした。この時に初めて「自分は何てことをしてしまったのだろう」と自分の罪の重さを理解しました。

私の犯した罪によって、被害者様の人生を奪い、被害者御遺族の方々から大切な人を奪い、傷つけ、家族にも肩身の狭い想いをさせ、勤めていた会社にも信用を失わせる大変な迷惑をかけてしまいました。多くの人々を不幸にしてみました。

御遺族の方々は深く心を閉ざされ、面会もしていただけず、直接の謝罪も手紙も渡すこともできていません。示談も成立していない状況です。

刑事裁判では、過失運転致死アルコール影響等発覚免脱の罪で懲役3年の判決を受けました。飲酒運転した挙句、現場から逃走して被害者様を見殺しにし、私のやった事は殺人と変わらず、御遺族の方々がこの内容に納得できる筈がありません。

飲酒運転は何も生みません。生

むのは不幸だけです。ハンドルを握るということは通行人、同乗者、周囲の方々の命を握っているのと同じだという自覚が私にはあまりにも足りませんでした。

逮捕された当初の私は、「路上に座っていたのが悪い、自分は悪くない」と考えていました。しかし、飲酒運転さえしなければ路上の被害者様に気付き、事件を起こさずに済んだかもしれない。最悪でも逃げずに救護義務を果たすことができたかもしれないと思うようになりました。

私は現在、市原刑務所に服役していますが、刑期が終われば全て終わるのではなく、刑期が終わってから本当の始まりだと思っています。

社会復帰後も被害者御遺族や自身の家族、支えてくれる人達をこれ以上傷付けないよう、被害者御遺族の気持ちに尊重し、少しでも安心してもらえるよう尽くして生きていきたいと思っています。

(注) (財)交通安全協会発行「贖いの日々」から転載。

・無断転載禁止・二次使用禁止

管理者 登場

(蟹江安全運転管理協議会)

株式会社 浜乙女 弥富工場

弥富市鯛浦町北前新田128番

代表取締役専務
弥富工場長

服部 辰雄 氏

安全運転管理者

山口 貴史 氏

●社員数 188人
●管理車両 6台

交通事故ゼロをめざして行っている取組

◆会社の概況

株式会社 浜乙女は一九四六年(昭和二十一年)、小さな個人商店としてその第一歩を踏み出しました。

一枚の味付のりからスタートした浜乙女ブランドは、乾物の分野を中心として着実にラインナップを拡大し、総合食品メーカーへと成長を遂げることができました。この間、当社を取り巻く環境も大きく変化いたしました。経営理念である「買っ身になって商品を生産・販売し、食卓に満足

と笑顔を届けよう」の決意を新たにし、安全で安心して楽しんでいただける食品作りを続けてまいります。

◆交通安全の取組

①交通安全アンバサダー活動への参加と交通安全の啓発

当社従業員が蟹江警察署長、交通安全協会蟹江支部長より「交通安全アンバサダー」を受嘱し、各季の交通安全運動行事などへの参加を通じて周辺地域の交通安全啓発に努めています。

②工場内の交通事故防止の徹底

工場内の道路に制限速度を示す看板を設置しています。また、交差点や見通しの悪い箇所には停止線を表示し、当社従業員だけでなく、工場へ入場する運送業者や納入業者の車両に対しても工場内での交通事故防止や安全運転の啓発を行っています。

③飲酒運転根絶の啓発

工場の事務所入口に飲酒運転根絶啓発POPを設置し、従業員や訪問者に対して飲酒運転根絶のための啓発を行っています。

④社有車の安全管理と運転者の把握

社有車を運転する従業員を運転免許証登録名簿に登録し、運転免許証の更新時期のチェックを実施しています。また、社有車使用時はアルコールチェックや社有車の異常の有無の確認を徹底しています。

⑤交通安全教育への協力

中学生の自転車事故防止のため、蟹江警察署管内の全中学校が取り組んでいる「中学生自転車無事故無違反チャレンジ」に協力しています。

◆今後の取組

今後も会社として安全第一への取り組みを行い、交通安全に努めてまいります。また、周辺地域における交通安全活動への参加を通じ、地域における交通事故防止の啓発にも取り組んでまいります。



浜乙女ふりかけ



アンバサダー委嘱式



弥富工場入口



弥富工場構内



事務所棟入口



総決起大会



イオンキャンペーン

2026
年

春の全国交通安全運動の実施結果

4月6日(月)から4月15(水)までの10日間、交通安全運動が行われました。
各地区から報告のあった実施結果の一部を紹介します。

運動重点

- 通学路・生活道路におけるこどもを始めとする歩行者の安全確保
- 「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識の向上
- 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

愛知県

自転車安全利用アンバサダーに委嘱された
BOYS AND MENや幼稚園児らが交通安全を呼び掛け



犬山

シートベルト・チャイルドシート着用関所



守山

歩行者保護キャンペーン



西

西区自転車安全利用の日における自転車の
青切符制度導入や交通ルール遵守の啓発



犬山

(株)いしだ建設の皆さんが歩行保護を訴える立哨活動



春日井

東海ラジオパーソナリティ三浦優奈さんを
一日警察署長に迎え交通事故防止キャンペーン



緑

(株)トーエネック大高営業所が
電柱看板で自転車ヘルメット着用を啓発



一宮

一宮駅周辺や大型商業施設駐輪場において
自転車反則制度を周知



江南

大型商業施設での自転車の青切符制度を広報



守山

トヨタカローラ愛知大森店前での
立哨活動と交通安全キャンペーン



安 城 知 立

JAあいち中央農協から提供を受けた地元特産品のタマネギを配布しながら、交通安全、事故防止を呼び掛け



蟹 江

海部南部交通安全総決起大会



一 宮

ケーブルテレビ「アイ・シー・シー」を活用して自転車青切符制度を周知



安 城 知 立

知立駅の利用者や付近通行車両に対し踏切での交通事故防止を呼び掛け



蟹 江

交通安全アンバサダーの委嘱と自転車青切符垂れ幕による啓発



一 宮

一宮駅前及び踏切での交通安全キャンペーン



安 城 知 立

地元特産品のきゅうりに「車はきゅうり(急に)とまらない」のシールを添付して交通事故防止を呼び掛け



半 田

知多自動車学校の皆さんによる立哨活動等



稲 沢

高齢者に対する自転車安全利用等の交通安全教室



岡 崎

家康公行列に参加して交通安全を呼び掛け



知 多

知多市役所、知多ライオンズクラブ員らとともに自転車の安全利用キャンペーン



津 島

自転車利用者等へ青切符制度導入と交通ルール遵守の呼び掛け



蒲 郡

蒲郡竹島水族館前で「キラッとピカッとルールを守って交通安全」キャンペーン



設 楽

レストハウスとうえい前で交通安全キャンペーン



岡 崎

関係機関・団体の交通安全キャラバン隊による広報啓発



田 原

商業施設で自転車安全利用啓発と交通安全杯ゲートボール大会



新 城

朝の通勤・通学時間帯における交通安全の呼び掛け



岡 崎

岡崎自動車学校上地自動車学校における新入学児童を対象とした交通安全教室



高 速 隊

お笑いコンビのカミナリを一日高速隊長に迎えシートベルト全席着用キャンペーン



豊 川

東三河6署合同の出発式と交通安全キャンペーン



豊 田

トヨタ中央自動車学校での啓発活動



交 通 安 全 講 話

老人ホーム萩の里



日 付：3月4日
参加者：職員約30名
講 師：永谷交通総務係長

本町商店街ビバサイクル



日 付：3月26日
参加者：従業員等10名
講 師：永谷交通総務係長

尾西信用金庫



日 付：3月12日
参加者：職員約50名
講 師：櫻井交通課長

中央発條㈱



日 付：4月7日
参加者：新入社員49名
講 師：塩田交通課長

令和
8年度

エコ&セーフティ 無事故・無違反運動 参加チーム募集



1 今年の募集要領

◆ 運動期間

令和8年7月11日(土)～12月31日(木)まで

◆ 応募期間

6月3日(水)～6月23日(火)

◆ 参加資格

愛知県内地区安全運転管理協議会の会員
事業所の従業員とします。

①若者チーム(16歳～24歳以下)1チーム5人

②一般(年齢等不問)1チーム10人

◆ 参加チーム数

先着350チーム

※先着350チームで締め切ります。

締め切りはホームページでお知らせします。

◆ 参加に係る費用

①若者チーム

1チーム当たり 5,000円(消費税含む)

②一般チーム

1チーム当たり 10,000円(消費税含む)

※参加費用は、銀行振込となりますので、振
込手数料は、各チームでご負担ください。

※参加費用には、無事故・無違反であることを
確認するための「運転記録証明書」の
申請料を含みます。

2 運動の流れ

(1) 参加申込み

当協議会のホームページから「参加申請書」
をダウンロードし、参加申請書に必要な事項を
記載、記名、押印して6月23日(火)までに当協議
会まで郵送又は持参してください。

その後、当協議会から「運動のポスター」と
「参加費納入のご案内」をお送りします。

350チームの応募があり、締め切った場合
はホームページでお知らせしますので、郵送・
持参の前にご確認ください。

(2) 運転記録証明書の送付

自動車安全運転センターから、参加者全員
の運転記録証明書が届きます。

(3) 表彰式のご案内

自動車安全運転センターへの照会の結果、
無事故・無違反を達成されたチームには、(公
社)愛知県安全運転管理協議会から表彰式の
ご案内をお送りします。代表者の方は、表彰式
にご出席ください。

3 表彰式

(1) 日時

令和9年3月10日(水)

午前10時30分から

(2) 場所

名古屋市中区丸の内2-5-10

「アイリス愛知」

(3) 出席者等

達成事業所代表者1名のご出席をお願いし
ます。

達成チームには表彰状を贈呈します。

※表彰式中止の場合、当協議会のホームペー
ジでお知らせします。

(「AAKK」で検索)→新着情報→「令和8年
度エコ&セーフティ無事故・無違反運動」参
加申込みの受付



エコ&セーフティ



無事故・無違反運動に参加して

愛知トヨタWEST株式会社

蟹江店 佐藤 智



このたび「エコ&セーフティ無事故・無違反運動」に、愛知トヨタWEST蟹江店として参加し、全員で目標を達成することができました。達成に向けてまず取り組んだの

は、日々の運転を「急」のつかない運転に統一することです。急発進・急加速・急ブレーキを減らすため、発進は穏やかに、車間距離はいつもより少し多めに確保し、信号や交差点は早めの減速を徹底しました。

加えて、出発前のルート確認と時間に余裕を持った行動を習慣化し、「急がない環境づくり」を意識しました。エコの面では、アイドリングの抑制、不要な荷物を積まない、適正空気圧の維持など基本を継続。週ごとの声掛けで良かった事例を共有し、注意点はその場で確認することで、意識のズレを小さくしました。

結果として燃費にも手応えがあり、何より安全運転が当たり前になる感覚を得られたことが大きな収穫です。

今後もこの取り組みを継続し、地域の皆さまに安心をお届けしてまいります。

株式会社東郷製作所

総務部 総務課 伊藤 貴生



このたび、総務部10名でAAKK主催「エコ&セーフティ無事故無違反運動」に参加させていただき、7月11日から12月末までの間、無事故無違反を達成して表彰いただきました。期間中は単に注意を呼び掛けるだけでなく、具体的な行動につながる取り組みを続けました。特に印象的

だったのは、事故の「想定力」を高めるために交通事故の映像を皆で視聴したことです。実際の場面を目にすることで危険の局面や回避行動が鮮明になり、個々が取るべき具体的な運転行動交差点での再確認、追い越し時の余裕確保、無駄な急加速の抑制、などを互いに確認し合いました。視聴後には自然と雑談が生まれ、日常の会話の中で「今日の運転どうだった？」と互いに声を掛け合う習慣が定着しました。この雑談が、単発の研修に終わらず安全意識を日常業務に根付かせる原動力になったと感じています。また、エコ運転の実践も併せて行い、燃費改善と安全運転の両立を目指しました。今回の表彰は、メンバー全員の地道な努力と日々の小さな確認の積み重ねが評価された結果と受け止めています。愛知県安全運転管理協議会の皆様のご支援に深く感謝するとともに、今後も安全意識を高め続け、地域と社内の安全に貢献してまいります。



エコ&セーフティ

無事故・無違反運動に参加して



石橋建設興業株式会社



一般チーム 杉山 恵太

エコ&セーフティー (Eco & Safety) とは、環境配慮と安全を両立させる考え方であり、主に自動車運転において燃費の向上と交通事故の削減を同時に目指す「エコ&セーフティドライブ」として実践されている。また、この概念は運転に限らず、環境に優しく安全性の高い技術や製品、さらには企業活動にも広く適用されている。

この運転方法の特徴としては、急発進・急加速・急ブレーキを避けることや、十分な車間距離を保つことが挙げられる。これにより無駄な燃料消費を抑えるとともに、危険な状況の発生を未然に防ぐことができる。さらに、ガソリン使用量の削減による二酸化炭素 (CO₂) 排出量の低減と交通事故の防止という二つの効果が期待される点も大きな利点である。具体的な実践方法としては、穏やかなアクセル操作 (eスタート)、エンジンプレーキの活用、不要なアイドリングを控えることなどが挙げられる。

私は、この取り組みは誰でも日常生活の中で実践できる点に大きな価値があると感じた。特別な技術や設備がなくても、運転の仕方を少し意識するだけで環境保全と安全確保の両方に貢献できるからである。今後は、自分自身もエコ&セーフティドライブを意識し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでいきたい。



若者チーム 金田 瑞葵

今回、無事故・無違反運動に参加し、無事に目標を達成・受賞できたことを非常に嬉しく思います。運動に参加するにあたり、交通安全に対する知識や意識を向上させることに努めた結果、無事故・無違反の目標が達成できたと感じています。

私は免許を取得してから、自分の運転に信用が持てず、ほとんど車に乗らないまま社会人になりました。実質的にはペーパードライバーの状態でしたが、自分専用の車を使えることを知った日から、事故や違反を起こさないよう教習所の教本を読み返し、基礎から運転を見直しました。

また、運転中に感じたことや危険だと思ったことをチームで情報共有し、「かもしれない運転」などの危険予知を常に意識すること、周囲の状況を先読みすることの大切さを改めて認識しました。特に歩行者や自転車の巻き込み事故が危険だと考え、右左折時に歩行者や自転車がいないか確認することを意識しました。

さらに、焦りや緊張の無い状態で運転できるように出発時間を早めるなど、心と時間に余裕を持つようにしました。こうした小さな積み重ねが、安全運転、無事故・無違反につながったと実感しています。

車は扱い方を誤れば簡単に人の命を奪ってしまう危険なものです。この意識を忘れず、今後も慎重で丁寧な運転を続け、無事故・無違反を継続していきたいと考えています。

雨の日の交通事故防止

梅雨入りを迎える季節となりました。雨の日は、視界が悪くなるだけでなく、窓ガラスの曇りや、路面が濡れて滑りやすくなるなど悪条件が重なり、交通事故の危険性が高まります。そこで、雨の日に運転する際の注意点を紹介します。

①雨の日は路面が滑りやすいため、ブレーキをかけても晴天時に比べ車が停止するまでの距離が長くなります。車間距離を普段よりも多めにとりましょう。

特に、雨の降り始めの舗装道路はスリップしやすく、工事現場の鉄板や路面電車のレールなども滑りやすいので注意しましょう。

②雨天の高速走行時、タイヤと路面の間に水の膜ができてタイヤが路面から浮くハイドロプレーニング現象が発生することがあります。この現象が起きると、ハンドルもブレーキも全く効かなくなります。雨の日は速度を落とすとして走行しましょう。

③急発進、急ハンドル、急ブレーキなどの「急」のつく運転は絶対にやめましょう。横転や横すべりの原因となり危険です。

④歩行者の近くを通行するときは、泥や水がはねないように速度を落として通行しましょう。

⑤深い水たまりを通行すると、ブレーキドラムに水が入り、ブレーキが効かなくなったり、効きが悪くなることがあるので、避けて通りましょう。

⑥車のワイパーは常に整備しておきましょう。雨の降り始めにワイパーを使った際、油膜などでガラスが見えにくくなった場合は、洗浄液できれいにしましょう。

⑦車内の窓ガラスが曇ることが多いので曇りを除去する装置であるデフロスターを使ったり、側面のガラスを開けるなど、曇りを防ぎましょう。

⑧集中豪雨の際は、立体交差道路やガード下、アンダーパスが冠水している恐れがあるため注意し、冠水している道路には、進入することなく、引き返しましょう。

雨の中を運転する際は、特に慎重な運転に心掛け交通事故を防ぎましょう。



警察本部交通総務課
小林 未千佳

小林さんの交通キャンペーン

●東海ラジオ セーフティ・メッセージ PM4:35・PM5:25

表紙イラスト



マンガ制作・似顔絵イベント
ナガマンガセンター
沢村 ツトム

〒462-0016 名古屋市北区あじま
携帯電話：090-3259-8289
E-MAIL：tom.mangacenter.kumi@docomo.ne.jp



こどもの交通事故防止

愛知県内では、毎年多くの小学生が交通事故に遭っています。

令和7年中に愛知県内で交通事故で死傷した小学生は、694人(死者数1人)でした。

こどもたちが、交通ルールを守り、安全な交通行動が実践できるようになるために、
まずは大人が交通ルールを守って、こどもたちのお手本となる行動に心掛けましょう。

交通事故の主な原因

歩行者:132人 自転車:318人(1人) 自動車同乗中:241人 その他:3人

■歩行者負傷者の交通事故の主な原因 132人

- 1 横断の方法が悪かった 27人
- 2 信号無視 6人
- 3 道路で遊んでいた 2人
- 4 飛び出し 1人

※132人中、89人には違反はありませんでした。

■自転車死傷者の交通事故の主な原因 318人

- 1 安全不確認等 214人
- 2 一時不停止 42人
- 3 信号無視 6人

※安全不確認等には、運転操作の誤り・安全な方法で運転しなかったものを含みます。

事故を防ぐために次のように指導しましょう

■横断の方法

- 歩道橋や横断歩道を利用しましょう。
- 道路を渡る前は必ず止まりましょう。
- 道路を渡る前に左右の安全を確認しましょう。
- 渡るときはドライバーに手をあげるなど明確に横断の意思を伝えましょう。
- 渡っているときも周りの安全を確認しながら渡りましょう。
- 斜め横断など危険な横断はやめましょう。

■道路や駐車場で遊ばない

■歩く場所

- 歩道や路側帯があるところでは、必ず歩道や路側帯の中を歩きましょう。
- 歩道や路側帯がないところでは道路の右側を歩きましょう。

■信号などの交通ルールを守る

■ヘルメット

- 頭のサイズにあったヘルメットをかぶり、あご紐をきちんと締めましょう。

■通行場所

- 車道を通るときは左側を走行しましょう。
- 歩道を通るときは車道寄りを徐行して走行しましょう。
- 歩行者がいるときは、歩行者の通行を妨げないようにしましょう。

■安全確認をしっかり行う

■交通ルールを守る

- 信号を守りましょう。
- 一時停止場所では、停止線の直前で止まりましょう。
- 二人乗りや並進、傘差し運転等はやめましょう。
- 暗くなる前にライトを点灯しましょう。

■自転車は「車の仲間」、いつも安全を確かめながら走行する

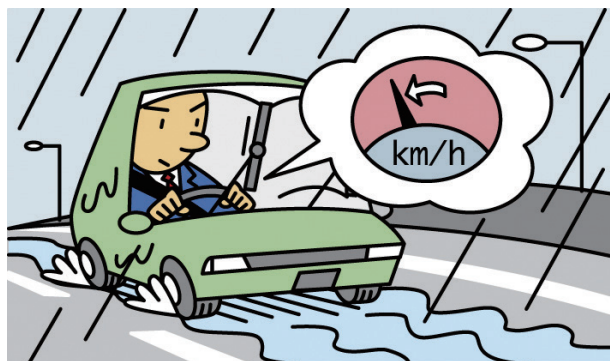
雨の日は より慎重な運転で 事故回避

①雨天時の事故防止に取り組もう

- 雨天時の事故防止のポイントをアドバイスしよう
- 濡れたくない歩行者の行動を周知しておこう

②梅雨に備えた車両整備を実施しよう

- 念入りの車両整備を行おう



雨天時の事故防止の

ポイントを

アドバイスしておこう

雨が続くこの時期は、油断していると事故が多発するので、事故防止に細かく気を配る必要があります。雨天時の事故防止のポイントとして、次のことを従業員にアドバイスしておきましょう。

- 晴天時よりもスピードを落として運転する
- 晴天時よりも長く車間距離をとる
- 「急」のつく運転操作をしない
- ミラーに雨滴が付着すると視界が悪化して、歩行者等を見落とすため、撥水材を塗布するなどして、視界の確保に努める
- 自車を目立たせるため、昼間でもライトを点灯する
- 豪雨時のアンダーパスへの進入は避ける

雨の降り始めの危険を

周知しておこう

雨の日の歩行者は「濡れたくない」という心理から、先を急ぐために信号を無視したり、車が接近していても道路を横断したりすることがあります。

とくに雨の降り始めは、こうした行動をとりやすいので、歩行者を発見したときは、その動静をしっかりと確認して、急な飛出し等に対応できるよう減速することとを指導しましょう。

また、雨の降り始めはスリップへの注意も必要です。泥やホコリが路面に浮いて非常に滑りやすくなるからです。こうした雨の日の危険を周知して、晴天時よりも慎重に運転するように指導しておきましょう。

車両整備を

念入りに行おう

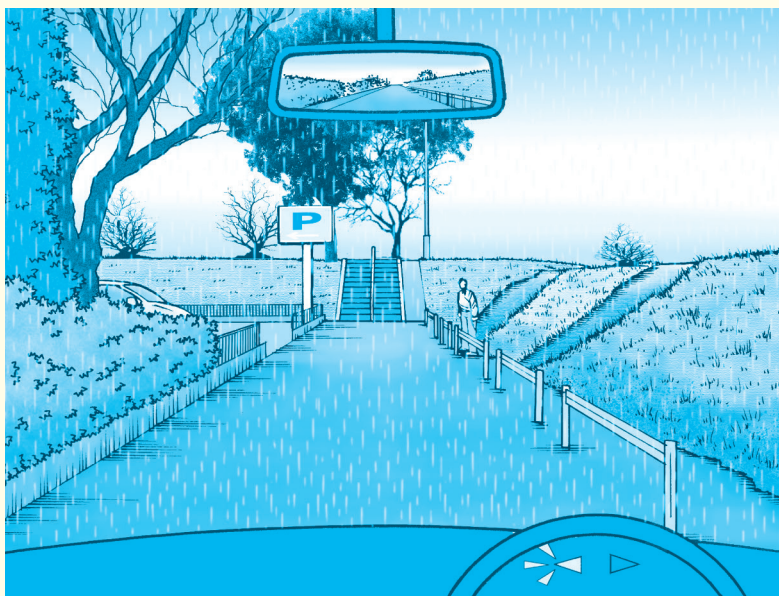
梅雨にあたるこの時期は、突然の雨に見舞われることがあります。そこで、本格的な梅雨に入る前に、車両を念入りに整備しておきましょう。

雨の日はワイパーが視界確保に重要な役割を果たします。ワイパーの作動状況や拭き取りの状態をしっかりと点検するように指導してください。

もし、ワイパーゴム等が劣化し、拭き取りが適切でない場合には、交換を指示しましょう。デフロスターやエアコンの作動状況も点検・整備しておけば、視界確保の準備はOKです。

また、スリップ事故の原因のひとつとしてタイヤの残り溝の不足が挙げられます。タイヤの残り溝は、確実にチェックしておくよう呼び掛けておきましょう。スリップサインが出ている場合は速やかに交換してください。

KYT(危険予知トレーニング)



- どのような危険が予測されますか?
- どのような運転をすれば安全ですか?

状況説明

雨が降り始めた河川敷の道路を走行しています。ガードレールの切れ目からこちらを見ている歩行者がいます。

自車は前方左側の駐車場に入りたいのですが……。

ドライバーとして

- イラストを見て、この運転場面に潜む危険要因を挙げてください。
- この場面での安全な運転方法について考えてください。

同乗者として

ドライバーにどのようなアドバイスをすればいいでしょうか。考えてください。

回答例

危険予知ポイント

- ①道路を横断してきた歩行者と衝突する。
- ②駐車場から出てきた車や人と衝突する。

※歩行者の横断を予測する

- ・歩行者がこちらを見ていることから、道路を横断してくる事が予想できます。
- ・歩行者は雨に濡れたくないと考え、自車の接近に気づいていても慌てて横断してくる事が考えられます。一時停止して歩行者に道を譲りましょう。

※駐車場から出てくる車に注意

- ・駐車場の出入口に植込みがあり見通しが悪くなっているため、駐車場から出てくる車や人に気づくのが遅れると衝突する危険があります。
- ・駐車場に入る前に、一時停止して周囲の安全を確認しましょう。

編集雑記

～ 責任 ～

警察官としての現職時代、110番通報に対するパトカーの緊急走行(赤色灯を点灯して赤信号通過)を倍増させようとした。事件や事故に巻き込まれて不安な通報者の気持ちを考えれば、少しでも早く、サイレンを鳴らして現場に向かうべきだと考えたからである。

しかし、そのとき、「緊急走行時は事故率が高い。パトカーの緊急走行を増やしてパトカーの事故が増えたら、責任をとれるのか?」と詰問された。

パトカーの事故が増えるという理由でゆっくり走るなんて、そんな警察活動を市民が納得するはずがない。

110番通報をして警察官を待っている人がいるのなら、少しでも早く到着する。それが警察活動として果たすべき責任であり、それでも事故を起こさずに現場に向かうこと、それが警察官としての仕事なのだと思論した。

10年ほど前、歩行者保護を提唱した。市民との会議の席上、横断歩道で歩行者が待っていたら必ず止まること、止まらないことは違反であり、検挙すると説明した。

出席者の一人が手を挙げた。「横断歩道の手前で止まったら追突される。署長は、その事故の責任をとれるのか?」と質問された。

「交通事故の責任は、警察署長の私がとれるものではありません。

ダイヤモンドを見つけたら減速し、横断歩道周辺に歩行者がいないか確認してください。渡ろうとする歩行者を見つけたら、早めにブレーキを踏み、ゆっくり止まるようにしてください。

横断歩道の手前で急ブレーキを踏むと、追突されるおそれがありますが、早めのブレーキで減速すれば、追突は避けられます」と答えたが、納得は得られなかった。

「追突されたらどうするんだと、俺は聞いているんだ!」

私は、会場のすべての人に向けて、ゆっくり、話し始めた。

「これまで交通事故で命を奪われた歩行者のこと、その家族の悲しみ、そして、死亡事故の加害者になったドライバーの人生のことを考えてみませんか。

横断歩道で待っている人がいれば、確実に止まる。こうした運転は、大きな信号交差点における右左折時にも、横断歩道周辺への確認行為につながり、歩行者、自転車との事故を防ぐことができます。

私たちドライバーは、重い責任を負って運転しているのです。その責任の重さを考えれば、横断歩道周辺の安全確認を怠らないこと、歩行者を見つけたら確実に止まることなど、決して難しいことではありません。安全運転を続けるというドライバーの責任の重さについて、私たちはもう一度考え直すべきです。

失われた命には名前がありますが、守られた命に名前はありません。失われた命を数えても、守られた命を数えることはできません。

こうした、数えられない、名前のない命を守るという、私たちの責任、私たちの社会の責任について、これまで本気で考えてこなかった。その結果、毎年、数多くの命が失われてきたのです。

私は違反の検挙をしたいわけではありません。指導・警告だけでは、ドライバーの運転行動を変えることができないからです。検挙活動が続けることで、多くのドライバーの運転行動を変えることができる、新しい交通環境を築くことができるからです。

歩行者が守られる交通環境を築く、今、そのために必要な警察活動が検挙活動であるならば、それを行うことが警察組織の仕事です。そして、それを指揮することが、警察署長として、私の果たすべき責任なのだと考えているのです」

静まりかえった会場のどこからか、拍手が聞こえた。その拍手の音が、私の背中を押した。

AAKK 小



安全運転管理者 法定講習会の日程〈予定〉

各会場とも ◆受付 午前9時15分 ◆開始 午前9時45分

指定署	区別	講習月日	場 所	指定署	区別	講習月日	場 所
千 種	オンライン有	9月8日(火)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	東 海		7月31日(金)	知多市勤労文化会館・つづじホール
東		7月22日(水)	岡谷銅機名古屋公会堂・大ホール	知 多		8月19日(水)	知多市勤労文化会館・つづじホール
北				常 滑			
西	オンライン有	7月23日(木)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	中 部 空 港			
中 村	オンライン有	7月28日(火)	岡谷銅機名古屋公会堂・大ホール	刈 谷		9月1日(火)	刈谷市総合文化センター
中	オンライン有	9月9日(水)	Niterra日本特殊陶業市民会館・フォレストホール	碧 南		11月13日(金)	碧南市文化会館
	オンライン有	11月4日(水)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	安 城		10月28日(水)	安城市民会館
昭 和				西 尾		10月27日(火)	にしん文化会館・茶々とホール
瑞 穂	オンライン有	7月8日(水)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	岡 崎		7月7日(火)	幸田町民会館・さくらホール
熱 田						7月29日(水)	
中 川	オンライン有	8月24日(月)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	豊 田		11月5日(木)	豊田市民文化会館・大ホール
南	オンライン有	8月26日(水)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール			11月6日(金)	
港	オンライン有	8月25日(火)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	足 助		7月2日(木)	足助交流館
緑	オンライン有	7月28日(火)	岡谷銅機名古屋公会堂・大ホール	設 楽		7月24日(金)	奥三河総合センター
名 東	オンライン有	9月8日(火)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	新 城		7月9日(木)	新城文化会館
天 白	オンライン有	7月23日(木)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	豊 川		11月25日(水)	豊川市文化会館
守 山		8月28日(金)	瀬戸市文化センター・文化ホール	蒲 郡		7月29日(水)	幸田町民会館・さくらホール
愛 知		11月6日(金)	豊田市民文化会館・大ホール	豊 橋		7月3日(金)	ライフポートとよはし・コンサートホール
瀬 戸		8月28日(金)	瀬戸市文化センター・文化ホール			8月31日(月)	
春 日 井		9月2日(水)	春日井市民会館	田 原		7月15日(水)	田原文化会館
小 牧		9月3日(木)	小牧市市民会館	【未受講者】			
西 枇杷島		11月11日(水)	名古屋芸術大学アートスクエア	名古屋ブロック (指定署・中)	オンライン有	12月11日(金)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール
江 南		11月12日(木)	犬山市民文化会館	尾張ブロック (指定署・一宮)		12月16日(水)	一宮市民会館
犬 山				西三河ブロック (指定署・岡崎)	オンライン有	11月27日(金)	幸田町民会館・さくらホール
一 宮		8月27日(木)	名古屋文理大学文化フォーラム	東三河ブロック (指定署・豊橋)		11月26日(木)	ライフポートとよはし・コンサートホール
稲 沢		11月19日(木)	名古屋文理大学文化フォーラム				
津 島		11月18日(水)	津島市文化会館				
蟹 江		11月19日(木)	名古屋文理大学文化フォーラム				
半 田		7月1日(水)	瀧上工業雁宿ホール				

※携行品は、受講申請書(愛知県収入証紙貼付済みのもの)、安全運転管理者講習通知書、筆記具。



June 2026

第60巻 第6号 通巻705号

愛知県警察本部交通部 協力

<https://www.1972-aakk.jp>

令和8年 6月1日発行

編集発行人 ●相羽 繁生

発 行 所 ●公益財団法人愛知県安全運転管理協議会

〒466-8566 名古屋市中区錦三丁目14番15号

TEL(052)883-2110 FAX(052)883-3100

制 作 ●ダイナパック株式会社

名古屋市中区錦三丁目14番15号

※「iネット」登録パスワード(半角数字4文字)・・・「2110」

●転載する場合は、事前に発行所へ連絡してください。●内容についてのお問合せは発行所に連絡してください。